

8日 月曜

マルコ

3:20 さて、イエスは家に戻られた。すると群衆が再び集まって來たので、イエスと弟子たちは食事をする暇もなかった。

3:21 これを聞いて、イエスの身内の者たちはイエスを連れ戻しに出かけた。人々が「イエスはおかしくなった」と言っていたからである。

3:22 また、エルサレムから下って來た律法学者たちも、「彼はベルゼブルにつかれている」とか、「悪靈どものかしらによって、悪靈どもを追い出している」と言っていた。

3:23 そこでイエスは彼らを呼び寄せて、たとえで語られた。「どうしてサタンがサタンを追い出せるのですか。

3:24 もし国が内部で分裂したら、その国は立ち行きません。

3:25 もし家が内部で分裂したら、その家は立ち行きません。

3:26 もし、サタンが自らに敵対して立ち、分裂したら、立ち行かずに滅んでしまいます。

3:27 まず強い者を縛り上げなければ、だれも、強い者の家に入って、家財を略奪することはできません。縛り上げれば、その家を略奪できます。

3:28 まことに、あなたがたに言います。人の子らは、どんな罪も赦していただけます。また、どれほど神を冒涜することを言っても、赦していただけます。

3:29 しかし聖靈を冒涜する者は、だれも永遠に赦されず、永遠の罪に定められます。」

3:30 このように言われたのは、彼らが、「イエスは汚れた靈につかれている」と言っていたからである。



聖書の記述

3:31 さて、イエスの母と兄弟たちがやって来て、外に立ち、人を送ってイエスを呼んだ。

3:32 大勢の人がイエスを囲んで座っていた。彼らは「ご覧ください。あなたの母上と兄弟姉妹方が、あなたを捜して外に来ておられます」と言った。

3:33 すると、イエスは彼らに答えて「わたしの母、わたしの兄弟とはだれでしょうか」と言われた。

3:34 そして、ご自分の周りに座っている人たちを見回して言われた。「ご覧なさい。わたしの母、わたしの兄弟です。

3:35 だれでも神のみころを行う人、その人がわたしの兄弟、姉妹、母なのです。」

神様に従わない人はあらゆる言い訳や理屈を考えものです。批判者はよりによってイエス様が「悪靈どものかしらによって」わざを行っていると主張しました。神の国では、言い訳や理屈を駆使できるような言葉巧みな人が尊重されるではありません。聖靈に従う人が尊重され用いられます。

ですからイエス様は「聖靈を冒涜する者はだれでも、…とこしえの罪に定められます」と言われました。「神を冒涜することを言う」のも同じような罪であるし、どんな罪でもイエス様の十字架によって赦されるはずではないか…とも思いますが、赦しはみな聖靈の示しがあればこそ成り立つものです。すなわち聖靈を冒涜してしまえば、赦しの信仰は成り立たないです。また聖靈によらなければ十字架を自分の罪の赦しと関連付けられないのです。

つまり聖靈を冒涜する者は、十字架の赦しを信じられないのです。ですから聖靈が働いておられることを感じたなら、聖靈に逆らわないように気をつけましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

